

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 明輝会	代表者	川上 秀一	法人・事業所の特徴	住み慣れた地域で暮らし続けるため、家族と地域、医療・介護・福祉が支えることができるよう柔軟なサービス提供を行っている。 町内会へ加入しており、行事や会議への参加を行い、地域とのつながりを持つようになっている。地域交流喫茶店の開催を通じて利用者以外の方との交流も行っている。
事業所名	小規模多機能ホーム すばる	管理者	井手口 崇		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	2人	人	人	10人	人	16人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	継続して説明を行っていく。 秋の自己評価前には説明会を開催し全職員が意味を理解したなか行えるよう促していく	十分に説明する機会は設けなかったが、例年にならい自己評価は行えていた。初めて取り組む職員は10名中3名であった。	このサービス評価を全職員が理解して実施することは重要と感じる。	来季の振り返りの際に説明を行うと共に、初めて参加する職員には経験者が説明を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方々が理解しやすいよう事業所パンフレットの変更とPR動画を作成し法人ホームページに掲載する。	チーム構成したが、チームが機能（稼働）できず事業所パンフレット、PR動画ともに変更・作成できなかった。	入りやすい雰囲気は感じる。地域交流喫茶店など地域の方々がもっとたくさん気軽に来れるようになると良いと思う。	通勤及び事業所の屋外掃除の際には地域の方へ積極的に挨拶を行う。
C. 事業所と地域のかかわり	継続して吉野北町内会への行事に利用者と共に積極的に参加していく。 515夏祭りや餅つき大会については近所の保育園や「あいご会」とも連携を図っていく。	町内会行事には敬老会、運動会、グランドゴルフ大会と参加できたが、地域交流喫茶店の夏祭りや餅つき大会に関しては「あいご会」とは上手く連携できなかったが「しらぎく保育園」が参加して下さった。	現あいご会の会長は仕事が忙しいみたい。会長の任期は1年で毎年交代するので、今後も高齢者との接点をもてる機会があると良い。 老人会は川上小で子供達との触れ合い活動を行っている。	町内会行事に引き続き利用者と一緒に参加を行っていく。あいご会とは連携をとれないかアプローチしていく。また「しらぎく保育園」には毎月の地域交流喫茶店の案内チラシを持参し交流を深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	地域の方々が理解しやすいよう事業所パンフレットの変更とPR動画を作成し法人のホームページに掲載する。	チーム構成したが、チームが機能（稼働）できず事業所パンフレット、PR動画ともに変更・作成できなかった。	町内会活動参加で「すばる」という介護事業所の認識はあるは、どのような支援サービスが受けられるのかは浸透していない。	町内会行事へ参加し町内会の方々と積極的に会話していく。また訪問先でも隣近所へ積極的に会話していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域交流喫茶店での運営推進会議開催を試みる	地域交流喫茶店での開催は令和元年5月より実施し和やかな雰囲気の中、委員との関係性も深まった。また12月には「夜の運営推進会議」と題して居酒屋にて行った。	地域交流喫茶店での開催や忘年会など気さくに話し合える場が出来てきていると思う。	地域交流喫茶店での開催を継続して行っていく。また年末には「夜の運営推進会議」は長寿安心相談センターへも参加を促し地域と事業所との連携を強化を図っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	運営推進会議と抱き合わせ、避難訓練の様子を委員に見てもらい、率直な意見を頂く機会を設ける。	防災訓練は運営推進会議と抱き合わせることができなかった。	防災訓練は火災・地震・台風、何を想定しているのか？一般の方の一時的避難場所としてすばるなどは活用できないか？	運営推進会議と抱き合わせ、避難訓練の様子を委員に見ていただき。率直な意見や今後の連携について話し合う場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、 本田、鮫島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	● 利用開始前までにサマリー及び基本情報はファイルに綴ることで情報の共有化を図る。また職員会議において説明を行う。 ● ミーティングに関しては申し送りの後に当日出勤者全員にて毎日行うことを徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 事前に情報としては準備してあるが、全職員が目を通しているか? というと情報把握は十分に徹底できてはいない。 ● 毎日のミーティングで確認できている点もあるが、ミーティングの時間が十分に確保できているとスタッフは感じていない (もっとミーティング時間がほしい)。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	2		10
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	1	7	2		10
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いの、声掛けや気遣いができていますか?	1	9			10
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	1	8	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 事前にサマリーが準備されているので確認できている。 ● 勉強会等で他の職員との情報を共有できている ● 毎日の申し送りとミーティングにて確認できている。 ● サービス導入前には、上司が先に家族や本人との関係づくりを行い、申し送り等で情報の共有が出来ている。 ● 本人の情報をできるだけ知り、初めの頃から必要と思われる支援ができるよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 情報の確認の仕方に個人差があり、伝わっていないと感ずることがある。 ● 申し送りに時間がかかり、ミーティングに十分な時間がとれていない。 ● 利用者の情報を全ての職員が共有するのは時間がかかり浸透されていない。 ● 本人と話は出来ても家族まではまだ上手くできない。 ● 事前の情報を見ていない職員もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
● 「利用者情報 (フェースシート)」は、情報が上がった時点でファイルに綴じていることをスタッフに伝達する。 ● ファイルは必ず所定の場所に置く。 ● 記録タブレット (ブルーオーシャン) に支援内容を記載する。記録タブレットに記載したことを日誌にて周知する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、
本田、鮫島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	3 人	2 人	10 人

前回の改善計画

- 申し送りの後に当日出勤者全員によるミーティングを毎日行い、「～したい」についての検討機会を確保する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 毎日のミーティングで検討できている点もあるが、ミーティングの時間が十分に確保できているとスタッフは感じていない (もっとミーティング時間がほしい)。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	4	3	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	1	3	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	3	3	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		4	4	2	10

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 全員ではないが、小さいことから「～したい」が実現できている方もいる。
- 数名の方に関しては、ミーティングで「～したい」について話し合うことが出来ており、実現も出来ている。
- 意思疎通のとれる方の目標「～したい」ということは出来るだけ尊重されている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ミーティングは行っているが、意見は少ない。
- ミーティングで意見を言う職員が決まっている。
- ミーティングの時間がしっかりと確保できていない。
- 「～したい」を実行に移すのが難しいこともあり、全ての方の希望には遠いことがある。
- 本人の目標、当面の目標がわかっていない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- 利用者一人一人の「～したい」(目標)の一覧を 1 号室に張り出し、利用者個々の目標についてスタッフの意識向上を図る。
- 同じく「ライフサポートプラン①」をファイルに綴り、目標とプランをスタッフ誰もが見やすくする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)
3. 日常生活の支援	メンバー 四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、本田、鮫島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	人	4 人	10 人

前回の改善計画
● 申し送りの後に行う毎日のミーティングと、毎月 2 回の職員会議にて 10 分間の軒下マップを作成する機会を確保する。 ⇒ 軒下マップの作成については各担当者が中心となり指定月に完成させる。 シートは A 3 用紙を使用し、完成したものあプランファイルと一緒に綴る。
前回の改善計画に対する取組み結果
● 軒下マップについては作成できていない。職員会議では他に話し合うことが多く、ミーティングでは担当者からの話があまり出なかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	6	3	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	7	1	1	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6	3	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		9		1	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		8	1	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 本人の状況に合わせた基礎的な介護は出来ていると思う。 ● 本人の変化については、その場にいるスタッフと共有し、上司確認を行い、その都度対応している。 ● 様子や表情をじっくり見極めて状況に合ったケアが行えていると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 軒下マップについては作成できていない。 ● 以前の暮らし方は数個しか把握できていない方が多い。 ● 全員分は 10 個以上の「以前の暮らし」を把握しているとはいいきれないと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
● 軒下マップと「利用者情報 (フェースシート)」を一つのファイルに綴って情報共有化 (見える化) を図り、ミーティングにおいて充実させていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 四元、麻生、佐藤、鯨川、吉留、宮本、池之上、本田、鯨島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	2 人	2 人	10 人

前回の改善計画

- 以前の暮らし方について家族に協力をもらいシートに書いてもらう (利用開始時時に家族に依頼する)。
⇒ シートについてはろうけん青空で使用しているものを使用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 以前の暮らし方シートは利用開始時に書いて頂くようになったが、全利用者 (家族) にはお願い出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	5	2	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	4	1	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8		1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	5	2	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- シートの見本 (ろうけん青空、グループホームひばりより) は準備することができた。
- 生活スタイル、人間関係は情報共有で把握できていっていると思う。
- 以前の暮らしの情報を書いてもらったことにより話のきっかけが出来てよかった。
- 自宅を訪問することにより日々の生活の様子が把握できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- シートの見本は準備したが、すばる用のシート作成は出来てない。
- 地域との関りが見えていない方が多い。
- ご家族とは話す機会はあるが、地域の方と普段話す機会はほとんどない。
- 民生委員や地域の資源など把握していない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 「利用者情報 (フェースシート)」「ライフサポートプラン①」「軒下マップ」「〇〇さんを知るためのシート」をファイルに綴り、誰もが目にすることができるよう見える化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、本田、鮫島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	1 人	1 人	10 人

前回の改善計画

- 「資源」についての勉強会を行う。
- 軒下マップを毎日のミーティング及び勉強を通じて作成し“見える化”する。
⇒ 軒下マップの作成については各担当者が中心となり指定月に完成させる

前回の改善計画に対する取組み結果

- 「資源」についての勉強会は実施できなかった。
- 軒下マップ作成できていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5	2	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	3	2	2	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	6		2	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	4	2	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- サービスに関しては柔軟に提供できていると思う。
- 変化や気づいたことは、その都度ミーティングや職員会議で確認できている。
- その方の必要なこと・援が提供されていると思う。残存機能は活かせるよう支援されている。
- 通い時間の変更や急な泊りなどに対する対応ができた。
- ミーティングが充実していて、共有が向上しているように思う。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域の資源について把握できていない。
- 軒下マップが作成できていない。
- 軒下マップは見たことがない。
- 地域の資源がわからず利用できてない。
- 「資源」についての勉強会、開催していない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- 令和元年度で行わなかった「資源」の勉強会を令和 2 年度は実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、
本田、鮫島、外

◆ 前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	5 人	1 人	3 人	10 人

前回の改善計画	
● 昨年より管理者が変更となったため今年は運営推進委員との関係構築を目的に引き続き管理者、計画作成担当者が会議出席することとする。そのなかで地域ニーズの把握と地域との連携、事業所としての取り組みを職員会議等を通じて全職員で検討していく体制を確立する。 ● 運営推進会議を通じて地域行事の把握に努め、更に参加することを増やしていく。 ● 本人を中心としたネットワークの把握については軒下マップや家族からの情報をもとに「知る」ことから始める	
前回の改善計画に対する取り組み結果	
● 運営推進会議には管理者、ケアマネと参加しているが、地域ニーズについて十分に把握できるまでには至っていない。地域行事への参加も「総会」「敬老会」「運動会」「グランドゴルフ大会」と前年度参加行事から拡大していないが、「総会」では地域の方々へ向けて健康体操の提供依頼があり実施できた。 ● 軒下マップ作成、情報収集の取り組みできていない。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	1	4	2	3	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	1	3	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	2	5		4	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	3	3	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 運営推進会議は、管理者、ケアマネを中心に定期的開催できている。 ● 地域への行事の参加も継続してできている。 ● 「ありがとう 515」や行事を通じて地域の方とも交流がある。 ● 515 の存在が交流を深めていると思う。他事業所（サービス）との連携も取れていると思う。 ● 地域の運動会など行事に参加できていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 運営推進会議の内容などが全職員には伝わっていない。 ● その他のサービル機関や自治体との会議には事業所としては参加しているが自身は参加できていない。 ● 地域のへの参加は個人的には出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
● 運営推進会議議事録は全スタッフ誰もが目にできる所（すばるリビング電話下の棚）に置き、見える化を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)
7. 運営	メンバー 四元、麻生、佐藤、鮫川、吉留、宮本、池之上、本田、鮫島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	4 人	3 人	2 人	10 人

前回の改善計画	● 送迎や訪問を通じて家族や本人から出た言葉や意見を毎日のミーティングで出し合うようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	● 毎日のミーティングで本人や家族からの意見は共有、話し合うことができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		6	2	2	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		8		2	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4	4	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	1	4	3	2	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 事業所のあり方については、その都度、話し合いで意見を言えている。 ● 意見や苦情等を受けたときには、上司に報告し、その都度対応している。 ● 送迎や訪問で感じたことや起こったことは、申し送り等で確認、共有できている。 ● 毎日のミーティングでちょっとしたことでも話すことができていたので、良い支援につながっていると思う。気になる方は普段より気にかけて様子を見ることができる。 ● 家族から出た話などをミーティングなどで話し合いができた。 ● 意見や苦情、相談等を運営に反映している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 地域の行事等には参加しており、事業所を知ってもらうことはできているが、地域と協働した取り組みを行うことは出来ていない。 ● 地域の人の意見があるのかわからない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
● 「ありがとう 515」への参加は全スタッフが担当 (交代制) で行い、地域の方々との接点をもっていく。	

8. 質を向上するための取組み

メンバー 四元、麻生、佐藤、鯨川、吉留、宮本、池之上、
本田、鯨島、外

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	2	1 人	10 人

前回の改善計画

- 職場外研修の案内については、職員会議にて案内するほか、事業所に来たチラシなどは壁に掲示することで周知を図り、職員自らの参加希望を募っていく。
- 職場内研修については引き続き委員会を通じて定期的に開催し質の向上を図っていく。
- 職員会議において管理者による勉強会を継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 職場外研修については参加する機会もあった。事業所に来たチラシなどは壁に掲示したり職員会議等で周知できた。
- 委員会を通じて職場内研修も定期的に行えた。
- 職員会議における管理者による勉強会は実施しないことが多かった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	6	1	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	3	2	10
③	地域連絡会に参加していますか		3	3	4	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	2	1	10

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- 職場内・外ともに研修に参加する機会が多く、参加できている。
- マイスターや喀痰吸引などの研修でスキルアップできている。
- 研修案内を貼り出すことで興味のある研修には参加が出来るようになっている。
- 職員会議等で管理者による勉強会は継続できている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- 地域連絡会に参加できていない。
- 職場外の研修は参加していない。
- ヒヤリハットなどが少ない。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

- 研修案内を 1 号室掲示及びすばるスタッフのグループラインで発信していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 12 月 18 日 (18 : 30 ~ 20 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 四元、麻生、佐藤、鯨川、吉留、宮本、池之上、本田、鯨島、外

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
● 身体拘束・虐待防止委員会が中心となり人権やプライバシーについての勉強会及び情報周知の取り組みを継続する。 ● 成年後見制度に関する勉強会を開催する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
● 身体拘束・虐待防止委員会による勉強会は行えた。 ● 成年後見制度に関する勉強会も行えた。	

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	1			10
②	虐待は行われていない	9	1			10
③	プライバシーが守られている	6	3	1		10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	4	1	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	2	1		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
● 身体拘束、虐待、プライバシーについては、委員会中心に勉強会を行い、理解に努めている。 ● 管理者より度についての勉強会の実施があった。 ● 拘束・虐待はなく、人権は守られていると思う。 ● 成年後見制度の勉強会できた。 ● 身体拘束、虐待は全くなく、プライバシー保護及び個人情報管理は出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
● 成年後見制度については勉強会があったが、実際に活用するまでは理解できていない。 ● プライバシーの面では、他利用者の前で聞こえるような排泄の話が出ていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
● 引き続きプライバシーには配慮していく。	